

サツマクroiロカワザンショウ類の一種

ニナ目カワザンショウガイ科

石川県カテゴリー

情報不足

Angustassiminea sp.

国カテゴリー

なし

選定理由

未記載種の可能性があるとともに生息環境が限定される種である。

形態

殻高3mm前後、サツマクroiロカワザンショウ*Angustassiminea satsumana* (増田・内田, 2004) に酷似する。殻質は薄く、軟体が淡黄色。

国内分布

不明。

県内分布

能登の岩礁海岸に割合広く分布する可能性があるが、奥能登先端部においては確認されていない。

生態

海岸の礫下に生息する。

生息地の条件

これまでは転石や砂礫の多い岩礁海岸の陸域で確認されている。

生存の危機

生息状況の詳細が不明である。(D)
海岸開発や海岸の漂着ゴミの増加が生息環境を悪化させている可能性がある。(A)

特記事項

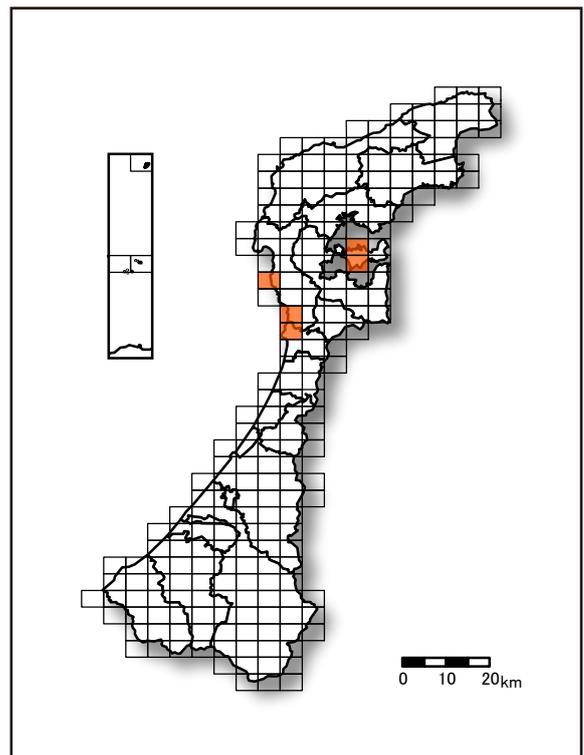
佐藤 (2003, 2004) が新潟県佐渡市高瀬と八幡で確認した未記載種に形態や生息環境が酷似する。

参考文献

野村卓之・高橋久 2008. 石川県の陸・淡水産貝類. しぶきつぼ. 29: 45-52.
増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水産貝類図鑑2 汽水域を含む全国の淡水貝類.



写真提供者: 高橋久



県内の分布